

サステナビリティを 暮らしの“あたりまえ”に

ユニリーバのパーパス経営

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社
ヘッドオブコミュニケーション
岩崎有里子



Unilever

ユニリーバについて



日本でも1964年から事業展開

世界最大級の消費財メーカー

190カ国で

400のブランドを展開

毎日

34億人が製品を使用

売上高

596億ユーロ

社員数

12万8,000人

(2024年4月現在)

ユニリーバのパーパス



**MAKE
CLEANLINESS
COMMONPLACE**

清潔さを暮らしの"あたりまえ"に

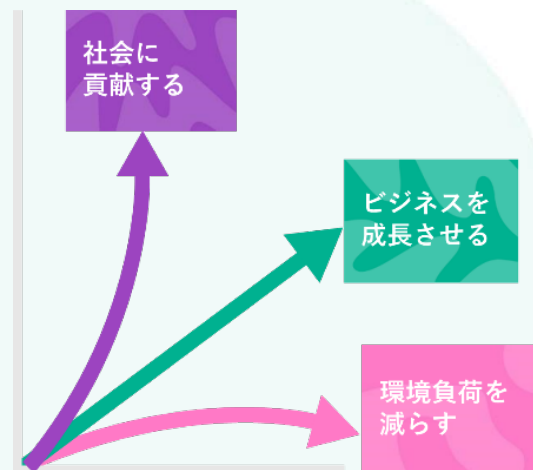


**MAKE
SUSTAINABLE LIVING
COMMONPLACE**

サステナビリティを暮らしの"あたりまえ"に

ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン (2010-2020)

世界中で多くの成果



2020年末までに
13億人以上の
すこやかな暮らしに貢献



自社工場からの環境負荷の削減
温室効果ガス 水使用量 廃棄物量
-75% -49% -96%



機会の拡大・経済発展に貢献
女性管理職比率 小規模農家の支援
51% 83万2,000軒
(世界)

ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン		
10億人 以上の すこやかな暮らしに貢献	製品ライフサイクルからの 環境負荷を 1/2 に	数百万人の 経済発展を支援
衛生・健康	温室効果ガス	人権・労働者の権利
食	水	女性のための機会
	廃棄物	包括的なビジネス
	持続可能な調達	

ユニリーバ・コンパス(2021-)

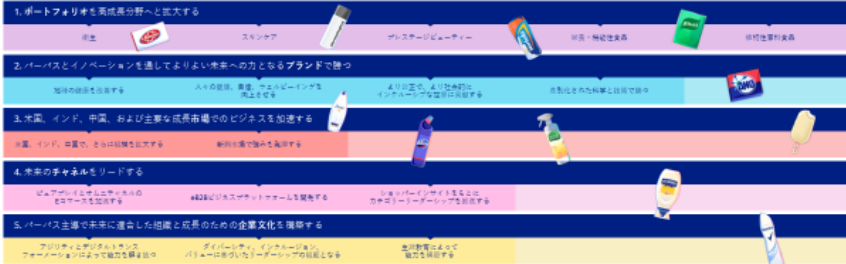
ユニリーバ・コンパス

私たちのビジョンは、サステナブルなビジネスのグローバルリーダーとなることです。私たちは、パーパス主導で未来に適合したビジネスモデルが優れたパフォーマンスを牽引し、業界の上位1/3に入る財務業績を一貫して実現することを実証していきます。

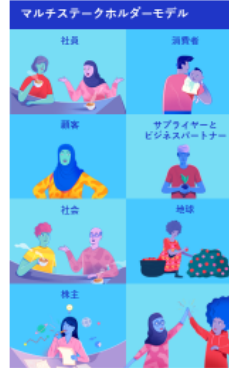


パーパス：サステナビリティを暮らしの“あたりまえ”に

戦略的選択とアクション



5 Growth Fundamentals: 5つの成長の基盤



複数年に及ぶ財務業績のフレームワーク



パーパスとイノベーションを通してよりよい未来への力となるブランドで勝つ

地球の健康を改善する			人々の健康、自信、ウェルビーイングを向上させる		より公正で、より社会的にインクルーシブな世界に貢献する	
気候変動へのアクション	自然の保護と再生	ごみのない世界	ポジティブな食品	健康とウェルビーイング	エクイティ、ダイバーシティ、インクルージョン	生活水準の向上
2025年までに、気候変動によるリスクを軽減するための製品開発を加速させる	2023年までに、パーム油、大豆、小麦、コメのサプライチェーンにおける森林破壊をゼロにする	2025年までに、再生可能なプラスチックの20%を製品に使用し、2030年までに50%に増やす	2025-2027年までに、植物由来の食品の年間売上を100億ユーロにする	ブランドを通じて健康とウェルビーイングを促進し、公平な機会と健康な生活を確保する。2025年までに、10億人にリーチする	社内の活動や方針からあらゆる層の従業員を支援することで、公平なインクルーシブな文化を実現する	2030年までに、ユニリーバに物品やサービスを調達するすべての人々の所得が少なくとも10%増加する
2030年までに、製品ライフサイクル全体の環境負荷を50%削減する	2030年までに、150万ヘクタールの森林を回復し、森林の保護も推進する	2025年までに、再生可能なプラスチックの20%を製品に使用し、2030年までに50%に増やす	2025年までに、植物由来の食品の年間売上を100億ユーロにする	すべての従業員、管理職でダイバーシティを促進させる	2025年までに、500万の中小企業の事業成長を支援する	2030年までに、女性の雇用を20%増加させる
2030年までに、循環型経済の原則を適用する	2030年までに、気候変動によるリスクを軽減するための製品開発を加速させる	2025年までに、再生可能なプラスチックの20%を製品に使用し、2030年までに50%に増やす	2025年までに、植物由来の食品の年間売上を100億ユーロにする	2025年までに、健康とウェルビーイングを促進し、公平な機会と健康な生活を確保する	2025年までに、公平な機会と健康な生活を確保する	2025年までに、女性の雇用を20%増加させる
2030年までに、すべてのサプライヤーが環境基準を満たしていることを確認する	2030年までに、気候変動によるリスクを軽減するための製品開発を加速させる	2025年までに、再生可能なプラスチックの20%を製品に使用し、2030年までに50%に増やす	2025年までに、植物由来の食品の年間売上を100億ユーロにする	2025年までに、健康とウェルビーイングを促進し、公平な機会と健康な生活を確保する	2025年までに、公平な機会と健康な生活を確保する	2025年までに、女性の雇用を20%増加させる



詳しくは、ユニリーバのグローバルウェブサイト (www.unilever.com/planet-and-society/) をご覧ください

ユニリーバのパーパス
サステナビリティを暮らしの“あたりまえ”に

パーパスを持つブランドは
成長する

パーパスを持つ企業は
存続する



パーパスを持つ人々は成功する

ACTION IN JAPAN

日本のお客さまの毎日の暮らしと社会によい変化をもたらしながらビジネスとしても成功することを目指します。

地球の健康の改善

気候変動へのアクション/
自然の保護・再生/ごみのない世界



日本での活動例

- プラスチックの使用量削減、再生プラスチックの導入、UMILEプログラム、リフィルステーションおよび空容器の回収・リサイクルの実証実験など
- 日本国内のすべての事業所で100%自然エネルギーを使用*
- 自社工場でゼロランドフィルを実現

健康,自信,ウェルビーイングの向上

ポジティブな栄養/
健康とウェルビーイング



日本での活動例

- 衛生・健康・よりインクルーシブな美しさのニーズに応える製品を提供
- パーパスを持つブランドによる活動を強化
- 自然災害の被災地への緊急支援・復興支援、新型コロナウイルス対策支援のための製品寄付など

より公正でインクルーシブな世界

公平・ダイバーシティ・インクルージョン/
生活水準の向上/未来の仕事



日本での活動例

- パーム油などの持続可能な調達を通して生産者の生活水準を向上
- ダイバーシティ & インクルージョンを社内外で尊重・推進。2020年には全選考過程から性別欄や写真、ファーストネームを排除
- 新しい働き方を社内外で推進

サステナビリティの目標



長期目標



気候変動

2039年までに
バリューチェーン全体で
ネットゼロを実現する



自然

自然環境と農業生態系の
レジリエンスと再生力を高める



プラスチック

使用量削減、資源循環、協働を通して
プラスチック汚染を終わらせる



生活水準

生活賃金の保障も含めて
バリューチェーンに関わる人々が
適切な生活水準を保てるようにする



目標

2030年までに事業活動からの温室効果ガス排出量(スコープ1および2)を100%削減する(2015年比、絶対量)。
2030年までにスコープ3のエネルギーおよび産業からの温室効果ガス排出量*を42%削減する(2021年比、絶対量)。

2030年までにスコープ3の森林、土地、農業(FLAG)からの温室効果ガス排出量**を30.3%削減する(2021年比、絶対量)。

2030年までに主要作物の95%を持続可能な調達の裏付けが取れたものにする。
2030年までに100万ヘクタールの農地で再生型農業を実践する。

2030年までに100万ヘクタールの自然生態系の保護と回復を支援する。

森林減少の原因となるコモディティにおいて森林破壊ゼロを継続する。

2030年までに水不足地域の100か所で水管理プログラムを実施する。

非再生プラスチックの使用量を2026年までに30%、2028年までに40%削減する(2019年比)。

プラスチックパッケージを100%再利用可能、リサイクル可能、または堆肥化可能にする(硬包装は2030年まで、軟包装は2035年までに実現)。

2025年までに使用するプラスチックの25%を再生プラスチックにする。

2025年までに販売する量よりも多くのプラスチックパッケージを回収・再生する。

2026年までにサプライチェーン内の25万人の小規模農家が生活水準向上のためのプログラムにアクセスできるように支援する。

2026年までに当社のサプライヤーの50%(支出金額ベース)から生活賃金の保障について署名を得る。

2026年までにリテールバリューチェーン内の中小企業250万社の事業拡大を支援する。

気候・自然基金へ10億ユーロを投資して支援します。

人権およびエクイティ、ダイバーシティ、インクルージョンへのコミットメントを事業の基盤として継続します。

*エネルギーおよび産業からの温室効果ガス排出には、当社が購入する物品およびサービス(原材料・パッケージ関連)、上流の輸送および配送、エネルギーおよび燃料に関連する活動、販売した製品の使用からの直接排出(HFC推進剤関連)、販売した製品の耐用年数終了時の処理、そして下流のリース資産(アイスクリーム小売棚関連)からの排出が含まれます。

**購入する物品およびサービス(原材料関連)由来のFLAG排出量。

パーパスを持つ人々は成功する

パーパスを
人材育成の核に

パーパスを持つ企業

パーパスを持つブランド

パーパスを持つ
リーダーシップ

パーパスを持つ
チーム

社員一人ひとりが
個人としてのパーパスを見出せるよう支援
それをベースにキャリア・能力開発を行う

SDGsプラットフォーム「UMILE」



目的



プラスチックの
リデュース



使用済空容器の
リサイクル



SDG
取組支援

参加方法



UMILE 参加者数

1,142,000 人

ポイント付与数

150,000 pt

回収拠点

150 ヲ所

回収量

200 kg

コラボ企業

30 企業以上

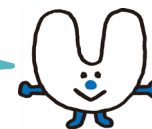
アップサイクル品

10 種類以上

公募事業 / 外部アワード

のべ 8 件

2024年1月29日現在！



PEOPLE WITH PURPOSE THRIVE



Be Yourself. Be proud. Colourful is Powerful.



PEOPLE WITH PURPOSE

多様な社員が自分らしくいきいきと働き、自らのパーパスを実現していけるようにしています。

自分らしいキャリアをサポート



新卒採用制度「UFLP365」

- 1年中いつでも、世界中どこからでも、何回でも応募可
- 大学1年生～既卒3年以内まで応募可
- 入社時期は卒業年度の4月/10月、卒業年度翌年の4月/10月と、4つの選択肢から選べる
- 中途採用も含め、すべての選考過程で性別欄・写真・ファーストネームの記載なし



Personal Development Plan
Future-fit Plan

世界共通の公正な人事評価・育成制度

- 業務遂行に必要な資格と能力によってのみ社員を採用・雇用・昇進
- 全社員が自らのパーパスとキャリアの希望、業績目標を明文化し上司と共有
- 若いうちから責任ある仕事を任せてリーダーを早期育成

自分らしい働き方をサポート



WAA (Work from Anywhere and Any time)

- 上司に申請すれば、理由を問わず、どこでも勤務できる*
- 平日5時～22時の間で自由に勤務時間・休憩時間を決められる
- 全社員が対象で、期間・日数の制限なし
- ユニリーバ式ワーケーション「地域 de WAA」も導入



WAAP (WAA for Parallel Careers)

- いつでも、どこからでもユニリーバの仕事ができる複業人材募集プラットフォーム
- 社員も複業が可能



すべての社員が自分らしく、誇らしく働けるように

- 世界全体でジェンダー、LGBTQI+、障がい、人種・エスニシティを中心にEDI*を推進
- 日本でも従業員リソースグループ「ProUd」を通じて研修の提供、イベント参加等社内外へ働きかけ
- たとえばLGBTQI+の方向けには同性パートナーを配偶者と同等に扱う社内制度、トランスジェンダーへの配慮、年中無休・匿名の相談窓口の設置などを実施

THERE'S NEVER BEEN
A BETTER TIME
TO CREATE
A BRIGHTER FUTURE

サステナビリティを
暮らしの“あたりまえ”に

